

国道トンネルの利用者の安全確保のために

国道トンネル等の安全確保に関する 行政評価・監視結果 〈行政評価・監視結果に基づいて改善通知〉

「行政評価・監視」は、中国四国管区行政評価局が行う行政改善活動の一つで、行政の運営全般を対象として、主に合規性・適正性等の観点から評価を行い、行政運営の改善を推進するものです。

この行政評価・監視は、トンネル内の照明が暗くて危険なので明るくしてほしいなど、国道トンネルの安全確保に関する住民の声（行政相談）が寄せられたことを踏まえ、広島県内及び島根県内の国が管理する国道にある84トンネルについて、照明施設や非常用施設、車道・歩道等の整備状況の調査を行ったものです。

この調査結果に基づき、平成19年3月27日、中国地方整備局に対して改善意見を通知しました。

〈本件照会先〉

中国四国管区行政評価局

第二部第2評価監視官室

（担当）芝 茂芳 矢野 耕三 宮奥 茂樹

（電話）082-228-6359

背景

- トンネル内の照明が暗くて危険なので明るくしてほしいなどの住民の声(行政相談)
- 閉塞されたトンネル内での事故は重大事故となる可能性が高く、安全確保に特に留意する必要

制度の概要

- **トンネル照明【道路構造令第34条第2項】**
トンネルには、安全かつ円滑な交通を図るため必要がある場合は、当該道路の設計速度等を勘案して、適当な照明施設を設けるものとする。
- **非常用施設【道路構造令第34条第3項】**
トンネルにおける車両の火災その他の事故により交通に危険を及ぼすおそれがある場合においては、必要に応じ、通報施設、警報施設、消火施設その他の非常用施設を設けるものとする。
- **車道・歩道の路面【道路トンネル技術基準第6章-3】**
路面状況については、巡回点検等により常に注意し、異常が発見された場合には、速やかに適切な処置を講じなければならない。

調査

行政評価・監視の実施

- 国道トンネル等の安全確保を目的として、中国5県にある国が管理する国道の143トンネルのうち広島県及び島根県内にある84トンネルについて、照明施設等の整備状況を調査
- 調査項目
 - (1) 国道トンネルの照明施設、非常用施設等の整備状況
 - (2) 国道トンネル等の保守点検及び維持修繕の実施状況
 - (3) 国道トンネル等の安全確保に関する利用者の意識
- 調査実施期間
平成18年12月～19年3月
- 調査担当部局
中国四国管区行政評価局、島根行政評価事務所
- 平成19年3月27日、中国四国管区行政評価局から中国地方整備局に対して改善意見を通知

改善通知

中国地方整備局

通知事項① トンネルの照明灯の取替え時期の適切化

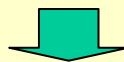
調査結果

- 広島県内及び島根県内で照明施設が設置されている81トンネルのうち、
- ① 野外の輝度センサーの受光部や照明制御回路の故障により本来設定している明るさが保てなくなっているもの（3トンネル）……………【参考資料P 1 参照】
 - ② 平成18年度にランプ取替え工事を実施するまでの間、不点灯率が20%を超えていたもの、現在、20%を超える又は20%近い不点灯率となっており取替え工事が必要なもの（20トンネル）……………【参考資料P 2 参照】

なお、トンネル照明の明るさは、法令で定められた基準の約30%増しの明るさに設定されており、壁面の反射による影響が設計例では約10%とされている。従って、当局の今回の調査においては、照明灯のみではその差約20%を超えるランプ切れ等による不点灯が生じた場合に定められた明るさが保てなくなる可能性があると考え、照明灯の不点灯率概ね20%を指標とした。

利用者調査結果

「国道トンネル内の照明が暗いと感じたことはありますか。」との質問に対して、「暗いと感じたことがある」と回答した人は、回答者全体の1,709人中963人（56.3%）……………【参考資料P 9 参照】



通知事項

トンネル内の安全かつ円滑な交通の確保を図るため、

- ① 照明灯の不点灯の把握は、全点灯時に重点的に実施し、把握もれを防ぐこと。
- ② ランプ取替え工事は、照明灯の不点灯率を指標に実施する等の運用方法を定め、速やかに行うこと。

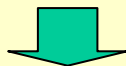
通知事項② 非常用施設の点検保守の適切化

調査結果

- 広島県内及び島根県内で非常用施設を設置している75トンネルのうち
- ① 非常電話がない状態のままとなっているもの、不通となっているもの、表示灯が点灯していないもの（9トンネル）……………【参考資料P 3 参照】
 - ② 押しボタン式通報装置の使用方法を記載した説明板の一部が消えて判読できなくなっているもの、「事故通報」・「火災通報」の表示が全て消えているもの（4トンネル）……………【参考資料P 4 参照】
 - ③ 大型消火器の消火剤の詰め替えが行われていないもの（3トンネル）……………【参考資料P 5 参照】

利用者調査結果

「国道トンネル内の非常用施設の表示が不十分と感じたことはありますか。」との質問に対して、「不十分と感じたことがある」と回答した人は、回答者全体の1,709人中402人（23.5%）……………【参考資料P 10 参照】



通知事項

トンネル内の火災、事故に備えて非常用施設の機能を確保するため、

道路巡回のうち、走行している車上から行う通常巡回及び夜間巡回では目視可能な点検を中心に行い、徒歩で行う徒歩巡回では非常用施設の細部における外観などの点検を徹底すること。

通知事項③ 車道・歩道の維持管理の適切化

調査結果

広島県内及び島根県内の84トンネルのうち

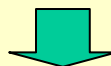
- ① トンネル内やトンネル周辺の車道・歩道に窪み（穴）、亀裂・段差や凹凸が生じているもの、砂利が堆積しているもの（7トンネル） ……【参考資料P 6 参照】
 - ② カーブしている歩車道未分離のトンネルで、歩行者・自転車がトンネル入口から見えにくいもの（1トンネル） ……【参考資料P 7 参照】
 - ③ トンネル内のセンターラインが汚れたり一部消失しているもの、視線誘導標（※）に汚れ・破損があるもの（18トンネル） ……【参考資料P 8 参照】
- ※ 視線誘導標とは、道路の側面に設置して、路側の表示をするもの。一般的に丸い反射体を取り付けられている。

利用者調査結果

「国道トンネル内の車道・歩道の安全性に問題があると感じたことはありますか。」

との質問に対して、「車道について問題がある」と回答した人は、回答者全体の

1,709人中602人（35.2%）、「歩道について問題がある」と回答した人は506人（29.6%） ……【参考資料P 11, 12 参照】



通知事項

トンネルを通行する車両、歩行者・自転車の安全確保のため、

- ① 道路巡回において、歩道や視線誘導標は徒歩巡回、夜間巡回で重点的に行うなど、点検を徹底すること
- ② 歩車道未分離のトンネルについては、歩行者・自転車への注意を喚起する対策を検討すること